

# 早瀧比咩神社通信

発行所：早瀧比咩神社  
氏子総代会  
玉野市滝773番地  
不定期発行  
編集：葛原

ご理解・ご協力に感謝

## 三年間を振り返って

### 早瀧比咩神社通信から

本号は歳旦祭以降大きな行事はなく、過去三年間にあった通常行事以外の出来事を通信既刊号から抜粋しました。

#### 令和元年度

恒例行事の四月二日最初の月次祭のあと、総代会を開き、新役員と行事予定を決めました。この結果は通信創刊号を発行お知らせしました。

神社境内の客殿南広場の寄進石碑が相当傾き立入禁止規制を行いました。五月五日春祭りの清掃

#### 退任挨拶

早瀧比咩神社氏子会 総代長 葛原幸芳

寒かった冬も終わり、お花見の季節になりました。氏子の皆様方にはご健勝のこととお喜び申し上げます。私は三年前に氏子総代長をお引き受けし、任期中の行事を総代・当番・氏子皆様のご協力と御支持により遂行でき任期を無事終えることができました。厚く御礼申し上げます。私は年齢が八十一歳超え、体力的に自信が持てない状況を感じることがあり、ご迷惑を懸ける前の引退を決めました。今後は裏方としてお宮の後押しを考えます。

作業中、素戔鳴神社鳥居の斜め右上の燈籠が突如崩落しましたが幸いけが人はありませんでした。六月にお宮火災保険を見直し自然災害に対応する契約をしました。

六月二十八日に傾いた石碑十七基と崩落した燈籠一基の修復が完了、八月に昨秋壊れた神輿の修理や九月には傷んだ向拝鈴紐を交換しました。

#### 令和二年度

令和二年の初めから新型コロナウイルスの流行

任期中は通常行事に加え、突発行事や風致維持に取り組み、お宮の存在を内外にPRするため、パンフレットと御朱印を発行し、氏子さん向けにお宮の情報を「早瀧比咩神社通信」の発行を続けることを通じて行いました。お宮をより皆さんに身近に感じてもらおうことや永続的な神社維持には、心残りがあります。具体的には引継ぎの三月末の新旧合同総代会にて引き受けて頂いた次期総代長へお願ひします。また残念なのはお宮の登記簿・権利書の内容を確認出来ませんでした。今後再作成必要な事態が生じるかもしれません。

が始まり、お宮行事に少なからず影響ができました。非常事態宣言によりお祭りも神輿・だんじりの巡行が中止となりました。その中で祭典は全て予定通り行われたのはせめてもの慰めです。

四月九日から風致維持作業を本殿南裏山の梅林の雑木伐採から始め、参道横や社務所裏、小宮さん周囲に範囲を広げて進めました。作業中、素戔鳴神社境内を取り囲んでいた土塀跡も確認されました。四月二十一日から龍岩整備に取り掛かり時間をかけて岩肌が見えるまで雑草・雑木を取り除き、仕上げに加茂分団に水洗してもらいました。

#### 令和三年度

十二月二十一日には明治時代に分社したうづき原地区から返還要請があった末社「荒神社」と「牛頭天王宮」の境内への遷座が実現しました。二月下旬に残念ながら、お賽銭を狙う輩が出て、警察を巻き込み対策に追われました。

この年もコロナの影響を受け、神輿だんじりの巡行中止となりました。昨年からの風致維持作業を進め、社務所裏に駐車場整備や、お宮管轄地外まで範囲を広げ、三の滝付近や龍王宮の裏山の雑草、雑木の伐採が進みました。遷座祭、龍岩整備、連理木発見などでKCT、山陽新聞等の取材を受け、区外、市外、県外の参拝者が増えました。お宮裏の民家を購入された人の敷地整備や、竜王宮の下に開店されている珈琲店や蜂蜜販売などの相乗効果が相まってお宮界隈で賑わいが出ました。倉敷市由加神社の麓にある山村地区住民から早瀧神社の奥の院を祀って

いるとの情報を受けてその場所を確認できました。風致維持は伐採のみではなく、昨秋十一月二十一日に購入・植樹したばかりの河津桜の苗木から開花し始めました。散歩がてらお出かけ下さい。皆さんには毎月交替のお宮掃除にご協力頂き、有難うございます。落ち葉をビニールシートでの



2/17車庫に納まったリヤカー

三日前から下準備、雑木伐採を経て二月二十日、一日かけてお宮からベテラン作業応援者と地元の方に協力して、お宮の境内に植樹したばかりの河津桜の苗木から開花し始めました。散歩がてらお出かけ下さい。皆さんには毎月交替のお宮掃除にご協力頂き、有難うございます。落ち葉をビニールシートでの



楠枝打ち作業完了

処理をお願いしてました。が、季節によっては落ち葉量は半端なく当番の組からの要望に答え、二月四日に故障中のリヤカーに変えてアルミ製、ノーパン仕様の新車を購入、新設した車庫に格納しました。ご活用下さい。

奥地区末社岩上神社 (2019014号を参照) 付近の氏子さんから大木枝打ちを打診され、二・

#### あとがき

皆さんと協働で10m高さの楠枝打ち作業を行いました。切断経験豊かな人の指示でロープ、ワイヤを使用して安全に切断できました。全ての枝は川端組の氏子さんが自宅裏の焼却場に持ち帰り処分して下さいました。

拙い記事の通信を三年間ご愛読ありがとうございました。校正にご協力を頂いた皆様ありがとうございました。特に宮歴史資料の提供頂いた武下さんと伐採木の焼却処理頂いた三輪さんに感謝です。今後もこの新聞に携わる機会があれば協力します。(編集士)